



エア・パシフィック 社名変更のお知らせ

2012年5月15日

フィジーのフラッグキャリアであるエア・パシフィックは、1958年当時の名称であった『FIJI AIRWAYS』への社名変更を含む、新しい戦略を明らかにしました。

これは、エア・パシフィックが新たに取り組んでいく収益の改善、スケジュールとネットワークの見直し、そして新しい機材の調達と搭載される製品への重要な投資を含んだ、一連の構造改革の内のひとつとなります。

『FIJI AIRWAYS』は、1958～1970年に使用していた社名でした。その後、より広範囲を含めた地域の存在を反映するため、1970年に現在の『エア・パシフィック』へと変更されました。この社名の復活は、誇り高いフィジーの伝統と、フィジーへ渡航する際に最も大きな役割を担う航空会社であることを表すこととなります。

エア・パシフィックの最高経営責任者であるデビッド・フリーガーは、「我々の社名変更は全体的な転換計画の一部であり、この計画に焦点を絞って努力し続けることで、南太平洋随一の航空会社として成長していくことになるでしょう。それは、傑出したリゾートやホテルと、多様なアクティビティを提供できることで、フィジーが最終目的地としてのみならず、ロサンゼルスや香港への長距離移動の途中で立ち寄れる、短期滞在目的地として発展できる多くの機会を持っているからです。フィジーを訪れる富裕層市場をより多く獲得するため、我々は新しい機材、新しい機内装備、新しい空港ラウンジとより良いサービスへ、投資していきます。」と、述べました。

本日の発表において、継続的な転換計画の中、既に成功を収めているフィジー/シドニー間の増便の他にも、3機の新しいA330-200型機を発注していることや、その機材に搭載するロールスロイスのトレント700エンジンを発注していること、そして提供するサービスの再活性化と現代化に集中していくという、重要な発表がありました。

その新しいブランドへのエア・パシフィックの移行は、2013年中の完了を予定しています。新しいA330-200型機は、エア・パシフィックの新しい社名と機体デザインを備えて2013年までに納入される予定です。しかし、ブランドについては業界内をはじめ、チェックインカウンター、空港ラウンジ施設の他、公式ウェブサイトや広告により、向こう18ヵ月間にわたって公開されます。

Air System Inc., Air Pacific GSA Japan
Toranomom TBL Bldg. 8F, 1-19-9 Toranomom, Minato-ku Tokyo 105-0001 Japan
Tel: 81-3-3593-6731 Fax: 81-3-3593-6534